

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 5 年 10 月 31 日 (2023.10.31)

【公開番号】 特開 2023-107972 (P2023-107972A)
【公開日】 令和 5 年 8 月 3 日 (2023.8.3)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2023-145
【出願番号】 特願 2023-98245 (P2023-98245)
【国際特許分類】
A 63 F 7/02 (2006.01)
【FI】
A 63 F 7/02 315 A

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 5 年 10 月 20 日 (2023.10.20)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

所定の取得条件の成立に基づいて判別情報を取得する判別情報取得手段と、
その判別情報取得手段によって取得された前記判別情報を用いて判別を実行する判別手段と、
その判別手段の判別結果が特定の判別結果になったことに基づいて遊技者に有利な特典遊技を実行することが可能な特典遊技実行手段と、を備えた遊技機において、
前記特典遊技実行手段によって実行される前記特典遊技として、特定特典遊技を少なくとも含む複数のうち 1 の前記特典遊技を決定する決定手段と、
少なくとも前記特定特典遊技に関する遊技の状態が終了した後の状態として、遊技者に有利な第 1 状態を設定する第 1 状態設定手段と、
前記第 1 状態が設定された後で予め定められた第 1 回数の前記判別手段の判別に渡って連続して前記特定の判別結果とは異なる判別結果となったことに基づいて、前記第 1 状態よりも有利度合いが低い第 2 状態を設定する第 2 状態設定手段と、
前記第 1 回数の判別が実行されるまで継続し得る前記第 1 状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が、前記第 1 回数未満の第 2 回数よりも多い回数であって前記第 1 回数以下の回数の範囲において前記判別手段の判別が実行されたことに基づいて、前記判別手段の判別結果を示すための所定演出として所定の演出態様を少なくとも含む演出を実行可能な第 1 演出実行手段と、
前記第 1 回数の判別が実行されるまで継続し得る第 1 状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が、前記第 2 回数以下の回数の範囲において前記判別手段の判別が実行されたことに基づいて、前記所定演出として前記所定の演出態様を含まない演出を実行可能な第 2 演出実行手段と、を備え、
前記第 1 回数の判別が実行されるまで継続し得る第 1 状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が、前記第 2 回数以下の回数の範囲と、前記第 2 回数よりも多い回数であって前記第 1 回数以下の回数の範囲とで、前記特典遊技が実行されて前記第 1 状態が設定される期待値が異なる構成であり、
前記遊技機は、
前記第 1 回数の判別が実行されるまで継続し得る第 1 状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が、前記第 2 回数以下の回数の範囲と、前記第 2 回数よりも多い回数であっ

30

40

50

て前記第 1 回数以下の回数の範囲とで、前記判別手段による 1 の判別に基づいて前記特典遊技が実行される確率が同一となる構成であることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機等の遊技機には、所定の抽選条件の成立に基づいて行われる抽選の結果が当たりだった場合に、当たり遊技を実行するものがある。かかる遊技機の中には、例えば、遊技者にとって有利度合いが異なる複数の状態を設定可能に構成することにより遊技者の遊技に対する興趣向上を図っているものがある。

10

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献 1】特開 2001-038007 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、更なる興趣向上が求められている。

20

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができる遊技機を提供することを目的としている。

30

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

40

この目的を達成するために本発明の遊技機は、所定の取得条件の成立に基づいて判別情報を取得する判別情報取得手段と、その判別情報取得手段によって取得された前記判別情報を用いて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別結果が特定の判別結果になったことに基づいて遊技者に有利な特典遊技を実行することが可能な特典遊技実行手段と、を備え、前記特典遊技実行手段によって実行される前記特典遊技として、特定特典遊技を少なくとも含む複数のうち 1 の前記特典遊技を決定する決定手段と、少なくとも前記特定特典遊技に関する遊技の状態が終了した後の状態として、遊技者に有利な第 1 状態を設定する第 1 状態設定手段と、前記第 1 状態が設定された後で予め定められた第 1 回数の前記判別手段の判別に渡って連続して前記特定の判別結果とは異なる判別結果となったことに基づいて、前記第 1 状態よりも有利度合いが低い第 2 状態を設定する第 2 状態設定手段と

50

、前記第 1 回数の判別が実行されるまで継続し得る前記第 1 状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が、前記第 1 回数未満の第 2 回数よりも多い回数であって前記第 1 回数以下の回数の範囲において前記判別手段の判別が実行されたことに基づいて、前記判別手段の判別結果を示すための所定演出として所定の演出態様を少なくとも含む演出を実行可能な第 1 演出実行手段と、前記第 1 回数の判別が実行されるまで継続し得る第 1 状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が、前記第 2 回数以下の回数の範囲において前記判別手段の判別が実行されたことに基づいて、前記所定演出として前記所定の演出態様を含まない演出を実行可能な第 2 演出実行手段と、を備え、前記第 1 回数の判別が実行されるまで継続し得る第 1 状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が、前記第 2 回数以下の回数の範囲と、前記第 2 回数よりも多い回数であって前記第 1 回数以下の回数の範囲とで、前記特典遊技が実行されて前記第 1 状態が設定される期待値が異なる構成であり、前記遊技機は、前記第 1 回数の判別が実行されるまで継続し得る第 1 状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が、前記第 2 回数以下の回数の範囲と、前記第 2 回数よりも多い回数であって前記第 1 回数以下の回数の範囲とで、前記判別手段による 1 の判別に基づいて前記特典遊技が実行される確率が同一となる構成である。

10

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

20

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

30

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0011】

本発明の遊技機によれば、所定の取得条件の成立に基づいて判別情報を取得する判別情報取得手段と、その判別情報取得手段によって取得された前記判別情報を用いて判別を実行する判別手段と、その判別手段の判別結果が特定の判別結果になったことに基づいて遊技者に有利な特典遊技を実行することが可能な特典遊技実行手段と、を備え、前記特典遊技実行手段によって実行される前記特典遊技として、特定特典遊技を少なくとも含む複数のうち 1 の前記特典遊技を決定する決定手段と、少なくとも前記特定特典遊技に関する遊技の状態が終了した後の状態として、遊技者に有利な第 1 状態を設定する第 1 状態設定手段と、前記第 1 状態が設定された後で予め定められた第 1 回数の前記判別手段の判別に渡って連続して前記特定の判別結果とは異なる判別結果となったことに基づいて、前記第 1

50

状態よりも有利度合いが低い第2状態を設定する第2状態設定手段と、前記第1回数の判別が実行されるまで継続し得る前記第1状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が、前記第1回数未満の第2回数よりも多い回数であって前記第1回数以下の回数の範囲において前記判別手段の判別が実行されたことに基づいて、前記判別手段の判別結果を示すための所定演出として所定の演出態様を少なくとも含む演出を実行可能な第1演出実行手段と、前記第1回数の判別が実行されるまで継続し得る第1状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が、前記第2回数以下の回数の範囲において前記判別手段の判別が実行されたことに基づいて、前記所定演出として前記所定の演出態様を含まない演出を実行可能な第2演出実行手段と、を備え、前記第1回数の判別が実行されるまで継続し得る第1状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が、前記第2回数以下の回数の範囲と、前記第2回数よりも多い回数であって前記第1回数以下の回数の範囲とで、前記特典遊技が実行されて前記第1状態が設定される期待値が異なる構成であり、前記遊技機は、前記第1回数の判別が実行されるまで継続し得る第1状態が設定された後の前記判別手段の判別の回数が、前記第2回数以下の回数の範囲と、前記第2回数よりも多い回数であって前記第1回数以下の回数の範囲とで、前記判別手段による1の判別に基づいて前記特典遊技が実行される確率が同一となる構成である。

10

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0012】

これにより、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができるという効果がある。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

30

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】 0 0 1 8		
【補正方法】 削除		
【補正の内容】		
【手続補正 1 9】		
【補正対象書類名】 明細書		
【補正対象項目名】 0 0 1 9		
【補正方法】 削除		
【補正の内容】		
【手続補正 2 0】		
【補正対象書類名】 明細書		10
【補正対象項目名】 0 0 2 0		
【補正方法】 削除		
【補正の内容】		
【手続補正 2 1】		
【補正対象書類名】 明細書		
【補正対象項目名】 3 0 3 0		
【補正方法】 変更		
【補正の内容】		
【3 0 3 0】		
1 0	パチンコ機（遊技機）	20
5 1	操作ハンドル（第 7 実施形態における操作手段）	
6 4	第 1 入球口（第 1 入球手段）	
2 0 3 a	特別図柄 1 保留球格納エリア（記憶手段）	
2 0 3 a 2	特別図柄 2 保留球格納エリア（記憶手段）	
6 4 0 0	第 2 入球口（第 2 入球手段）	
6 4 0 0 a	電動役物（可変手段）	
6 5 0 0	V 入賞装置（第 3 入球手段）	
6 5 0 0 f 1	開閉扉（第 2 可変手段）	
S 2 1 5	第 7 実施形態における特典遊技実行手段の一部	
S 2 2 1	可変遊技実行手段	30
S 3 0 3, S 3 0 7	第 7 実施形態における判別手段	
S 2 3 7	第 7 実施形態における第 2 状態設定手段	
S 7 0 6, S 7 5 8	第 7 実施形態における判別情報取得手段	
S 1 6 2 2	第 7 実施形態における第 1 状態設定手段	
S 1 7 1 7	第 7 実施形態における特典遊技実行手段の一部	